

## 岡崎市社会資本整備総合交付金評価委員会議事録

### 1 日時

令和3年11月30日（火） 10:00～

### 2 場所

岡崎市役所 西庁舎5階 501号室  
（オンライン会議にて開催）

### 3 評価委員

出席者

委員長：名城大学教授	鈴木 温 氏
委員：名古屋大学准教授	井料 美帆 氏
委員：名古屋大学准教授	中井 健太郎 氏
委員：名古屋市立大学准教授	三浦 哲司 氏

### 4 事務局

総合政策部企画課係長	鈴木 昌幸
総合政策部企画課主事	増澤 趣里
都市基盤部住宅計画課係長	近藤 泰史

### 5 傍聴人

なし

### 6 委員会次第

#### (1) 開会

委員長選任

#### (2) 議事

・「岡崎南地区地域居住機能再生計画」中間評価

#### (3) 閉会

### 7 配布資料

- ・事業説明資料
- ・事後評価書

### 8 会議要旨

- (1) 本委員会は、「岡崎市附属機関等の会議の公開に関する要領」第2条に基づき、公開となることの説明
- (2) 委員長の選出、鈴木委員を委員長に選出
- (3) 議事（事務局説明、質疑応答）

## 9 議事内容

鈴木委員長	「岡崎南地区地域居住機能再生計画」の中間評価について、事務局から説明をお願いします。
事務局	（「岡崎南地区地域居住機能再生計画」の、計画の指標、実績、指標達成状況、評価について説明。）
鈴木委員長	事務局の説明事項でご意見等ありましたら、ご発言をお願いします。
三浦委員	集約を行うと、既存のコミュニティが崩壊するケースがあると被災地で言われていますが。移転時にこれまでのコミュニティの継続について何か工夫しましたか。
事務局	計画初期段階に各団地の自治会長、移転元及び移転先の地元総代へ説明を行い、新たな町内会を設立するか、または既存の町内会へ編入するかといったような、移転後あり方について調整や協議を進め、最終的には既存の町内会へ編入しました。
三浦委員	移転について、従前の団地ごとに移転先の住棟を決めていたりしますか。
事務局	各団地の自治会と協議を行った結果、全て抽選とし、従前の団地ごとに住棟の指定を行わないこととなりました。
三浦委員	福祉的要素として、生活困窮者などへのサポートは行っているのですか。
事務局	入居者の中で、ご指摘のようなサポートが必要な方に対しては、入居の段階から福祉部局と連携し、適切な対応を取れる体制をとっています。
井料委員	コンパクトシティといった観点からも居住誘導地域等へ市営住宅のような施設から積極的に移転する姿勢はよいと思います。今回、放課後児童クラブを整備しましたが、保育所のように

	な施設は迷惑施設と言われることがあります。反対意見等はありませんでしたか。
事務局	整備の計画段階において、地域住民や、入居者へ説明を行いましたが目立った反対意見はありませんでした。なお、団地内において、騒音に対するハード対策として、放課後児童クラブと住棟との間に遮音フェンスを設置し、軽減を図る等の措置は行っております。
井料委員	新規入居もあつたかと思いますが、子育て世帯の入居はどれくらいの割合になりますか。
事務局	新規入居は約40件行い、子育て世帯は全150戸のうち、1割強となっています。
中井委員	集会所、放課後児童クラブはどういう方が利用する想定ですか。
事務局	集会所は基本的に団地内利用が優先されますが、団地外の方も利用できるように調整中です。次に、放課後児童クラブは団地内のみならず、団地外の方でも利用可能です。
中井委員	今までなかった地域に放課後児童クラブを新設したのですか。
事務局	整備の是非は、福祉部局の所管課と事前に協議を行っております。所管課では学区毎の充足状況を確認しており、今回、児童が増えてくることが想定されるため、整備を行うこととなりました。
鈴木委員	外国人の方は集約の際にコミュニケーションは取れましたか。
事務局	市営住宅では今回、建替えを行っている団地に限らず、外国人の方が多く応募に来られます。そのため、指定管理者において多言語に対応できる職員を配置しており、そちらで対応を行いました。

## 10 結果

この中間評価案が妥当であることを判断する旨、委員一致で採決された。